

第15回北星・原発問題講演会

「3. 11震災・原発事故後の社会変化

～電力会社経営を中心に～

2014年7月25日
北星学園大学経済学部
山口 博教

目次

- 1. はじめにー専門と授業での扱い
- 2. 原子力村と原発推進勢力
- 3. 東電の「清算・解体」と「国有化・公的管理」をめぐる論争
- 4. 電力「自由化」と電力料金、電力会社の経営
- 5. 「原発のたたみ方」ー稼働再開か廃炉への歩みか
- 6. まとめと補足ー
エネルギーを求めて軍事大国化と国民生活への圧迫

(なお、スライド中の用語の下線は、報告者がつけたものです。)

2

世話人の注:

以下のスライド中、資料1～10は印刷物として当日の参加者に配られたもの

3

1. はじめに、

- はじめに、専門と授業での扱い
 - a. 専門
 - ードイツ経済(企業と金融市場)
 - b. 原発問題
 - ー国際交流科目「日本の経済」2013年度の授業

4

2. 原子力村と原発推進勢力

(朝日『神話の陰に』1～8, 2011.5.25～6.1)

- ①**原子力村**の構成要素 資料1
 - a. 中央政界・官界 b. 産業界・財界 c. 学会
 - d. マスコミ・メディア
 - e. 地方自治体 f. 反社会的組織犯罪集団
 - g. 原発容認・推進文化(鉄腕アトムも?)
- ②**安全神話**の形成と原発の推進・容認
 - a. 保険無しの原発
 - b. 地震(予知)学の遅れ

5

3. 東電の「清算・解体」と「国有化・公的管理」をめぐる論争

- ①「**東電公的管理の問題**」日経『経済教室』
 - 上 野村修也 (中央大) 「賠償枠組み、整合性に疑問」(2011.5.25)
 - 下 山内弘隆 (一ツ橋大) 「供給体制、復旧後に見直し」(2011.5.26)
- ②「**東電再生への課題**」日経『経済教室』
 - 上 橋川武郎 (一ツ橋大) 「経営体制の刷新、早急に」(2012.5.9) 資料2
 - 下 八田達夫 (学習院大) 「破綻前国有化」は前途多難」(2012.5.9) 資料3
- ③「**東電をどうすべきか**」日経『経済教室』
 - 上 山内隆弘 (一ツ橋大) 「国の負担・料金値上げ不可避」(2013.9.24)
 - 下 安念順司 (中央大) 「賠償責任の範囲限定を」(2013.9.25)

6

3. 東電の「清算・解体」と「国有化・公的管理」をめぐる論争

- ④「**どうする汚染水**」朝日の記事(2013.9.25) 資料4
 - 茂木敏充経産相 「技術的に困難な分野、国が関わる」
 - 馬淵澄夫元首相補佐官 「税金使うなら東電破綻も検討を」
- ⑤現在の状況
 - －2012年7月以降**東電国有化**(東洋経済『会社情報』)
 - ＝原子力損害賠償 機構が49.8%を出資、**公的管理**へ
 - ↓ (東電の決算書2011～13年)資料5-1
- ⑥「**東電延命**」との批判論
 - 奥村宏『**東電解体**』東洋経済社(2011年10月)
 - +資料「東電向け融資合意へ」日経の記事(2013.9.28) 資料5-2

7

4. 電力「自由化」と電力料金、電力会社の経営

- ①「**教えて！電気料金**」朝日の『特集』(2013.2.4～20, 2013.3.29) 資料7～10
- ②「**電気事業法改正** 2014.5.16 国会通過」朝日の記事(2014.5.19) 資料6
- ③「**電力システム改革の課題**」日経『経済教室』
 - 上、大橋弘(東大) 「料金上昇や供給減を避け」(2014.6.26)
 - 下、永山浩章(京大) 「原発廃炉は政府主導で」(2014.6.27)
 - ↓
- ④**原発コストを反映しない電力料金体系への批判** 小坂直人(北海学園大)
 - 『経済学にとって公共性とは何か』第4章「福島原発事故と日本のエネルギー政策—「原子力立国論」の虚構—」(2013年 日本経済評論社)

8

5. 原発の「たたみ方」—稼働再開か廃炉への歩みか

〔①が政府の対応、しかし「前に進めず、後ろに引けず」が現在の状況〕

- ①「原発の新規制基準—津波・地震 多重の備え」日経 2013年6月20日
- ②「原発のたたみ方 上—廃炉拡大、供え乏しく 処分場・費用、重荷に」
日経 2013年6月18日
- ③「原発のたたみ方 下—つながらぬサイクル 燃料再処理、展望開けず」
日経 2013年6月19日
- ④インタビュー「原発安全の番人」
前 米原子力規制委員会(NRC) グレゴリー・ヤッコ さん
「ブレーキ修理前に車を買う人いない 福島の教訓生かせ」
東日本大震災2年 オピニオン 朝日 2013年3月6日

9

6. まとめと補足

- ①エネルギーを求めて軍事大国化？
a 日米開戦前の日米関係と現在の日中関係
b 保守本流と青年層の貧困化⇒ヒトラー・ユーゲント化の心配
- ②迫りくる国家財政の逼迫と国民生活への圧迫
a 消費税値上げに次ぐ各種料金の値上げ
b 年金・社会保障費の減額
- ③原発包囲網の形成向け推薦図書
a 東野圭吾『天空の蜂』原作1995年刊 ⇒「原発テロの映画公開」2015年
b 小菅信彦『脱原発の社会経済学』明石書店 2014年3月刊
c 山本司『歌集 揺れている地軸』角川学芸出版 2013年刊
d 蓮池秀『私が愛した東京電力』かもがわ出版 2011年9月刊

10